

公安委員会 説明資料No. 1	大阪府門真市における女性死体損壊・ 死体遺棄事件の検挙について	平成28年1月7日 捜査第一課
--------------------	------------------------------------	--------------------

大阪府警察は、平成27年12月29日、大阪府門真市内のマンションにおいて遺体の一部が発見された事件で、同日、被疑者を死体損壊・死体遺棄罪で通常逮捕した。

1 被疑者

住居 大阪府門真市

イラストレーター（自称）

29歳

2 被害者

住居 大阪府門真市

アルバイト

A 女 当時25歳

3 事案の概要

被疑者は、平成27年12月24日頃から同月28日頃までの間、大阪府門真市内の被疑者方において、遺体をのこぎり等を用いて切断して損壊した上、骨や肉片を浴槽内や冷凍庫に入れるなどして遺棄したものの。

4 捜査の経過

- (1) 12月25日、被害者の実父から「12月24日から娘が行方不明である」旨の行方不明届を受理したことで認知。
- (2) 所要の捜査の結果、被疑者が被害者の銀行口座から現金を引き出していることが判明。被疑者方の捜索により、遺体の一部を発見したことから、12月29日、死体損壊・死体遺棄罪で通常逮捕。
- (3) その後、被害者と被疑者が共同生活を送っていたシェアハウス内からも遺体の一部が発見され、いずれも被害者のDNA型と一致。

千葉県警察は、平成28年1月4日、千葉県柏市において発生した男性殺人事件について、1月5日、被疑者を殺人罪で通常逮捕した。

1 被疑者

- (1) 住居 千葉県我孫子市
会社員(自称) 20歳
- (2) 住居 千葉県我孫子市(自称)
会社員 22歳
- (3) 住居 千葉県我孫子市
無職(自称) 21歳
- (4) 住居 千葉県我孫子市
会社員 甲 男 19歳

2 被害者

住居 千葉県我孫子市
会社員 A 男 当時17歳

3 逮捕事実の概要

被疑者らは共謀の上、平成28年1月4日、千葉県柏市において、橋の欄干から、被害者を直下の手賀川内に転落させて殺害したもの。

4 捜査の経過

- (1) 被疑者からの「財布を落とし、拾おうとして友人が川に転落した」旨の通報により認知。
- (2) 所要の捜査の結果、本件事実を特定し、1月5日、男4人を殺人罪で通常逮捕。

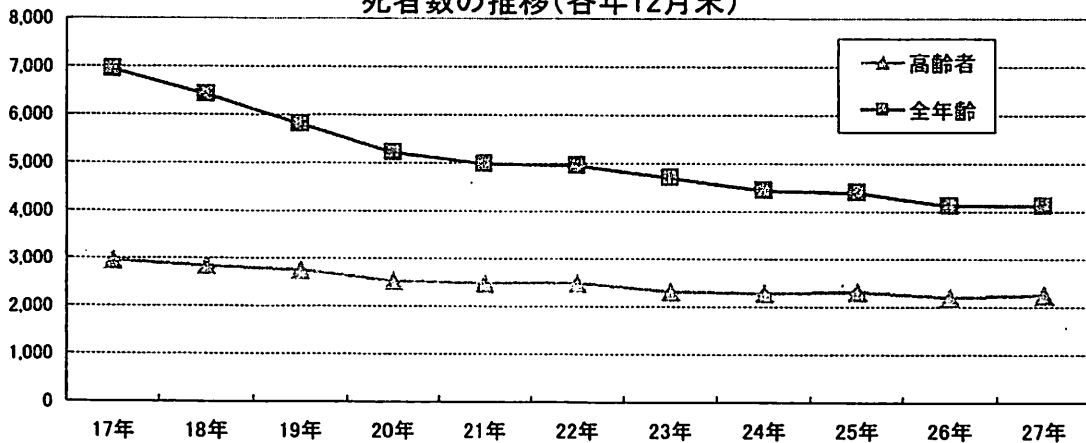
○ 平成27年中の交通事故発生状況

死者数 4,117人(前年比 +4人、+0.1%)
 うち高齢者(概数) 2,247人(同 +54人、+2.5%)
 発生件数(概数) 53万6,789件(同 -3万6,676件、-6.4%)
 負傷者数(概数) 66万5,126人(同 -4万4,863人、-6.3%)

注 高齢者死者数、発生件数及び負傷者数は交通事故日報集計システムにより集計された概数である。

平成27年中の交通事故死者数は4,117人で、15年ぶりの増加となった。

死者数の推移(各年12月末)

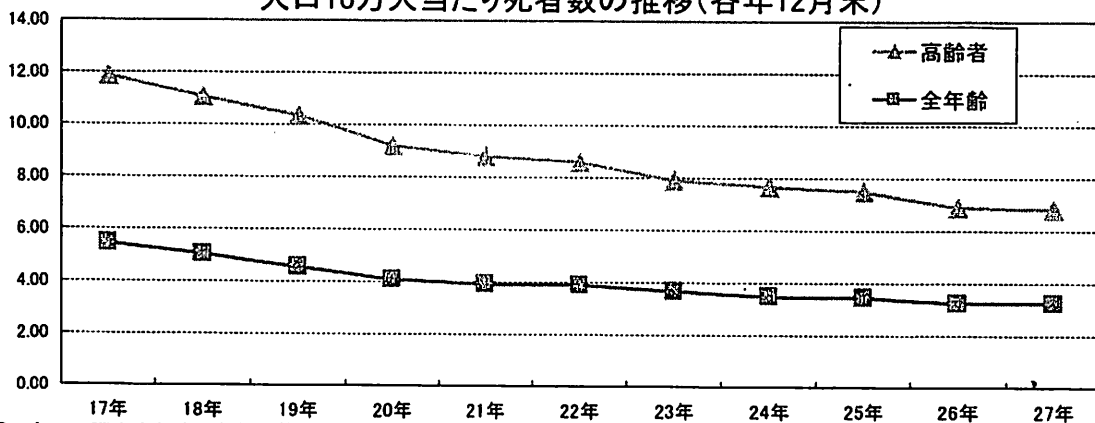


○ 死者数の推移(各年12月末)

	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
全年齢	6,937	6,415	5,796	5,209	4,979	4,948	4,691	4,438	4,388	4,113	4,117
うち高齢者	2,955	2,840	2,749	2,523	2,483	2,489	2,309	2,279	2,309	2,193	2,247

注 平成27年の高齢者死者数は、12月31日現在の交通事故日報集計システムにより作成された概数である。

人口10万人当たり死者数の推移(各年12月末)



○ 人口10万人当たり死者数の推移(各年12月末)

	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
全年齢	5.43	5.02	4.54	4.08	3.90	3.88	3.66	3.47	3.44	3.23	3.24
高齢者	11.88	11.06	10.33	9.19	8.80	8.58	7.90	7.66	7.50	6.88	6.81

注1 算出に用いた平成27年の高齢者死者数は、12月31日現在の交通事故日報集計システムにより作成された概数による。

注2 算出に用いた人口は、各前年の総務省統計資料「10月1日現在推計人口」または「国勢調査結果」による。

1 北朝鮮の動向

- 1月6日、北朝鮮は、核実験を実施
- 我が国においても、気象庁が、自然地震ではない可能性のある地震波を探知（発生時刻は午前10時29分）
- 北朝鮮はその後、メディアを通じて、「水爆実験を成功裏に行った」旨発表
 - ※ 北朝鮮は、①平成18年10月9日、②平成21年5月25日、③平成25年2月12日にも核実験を実施

2 政府の対応

- 内閣危機管理監を長とする官邸対策室を設置（午前10時53分）
- 国家安全保障会議を開催（午前11時44分、午後4時40分）
- 放射能対策連絡会議を開催（午後1時30分）
- 内閣総理大臣声明を発出
 - ・ 北朝鮮に対して厳重に抗議し、断固として非難
 - ・ 拉致等諸懸案の包括的解決に向け具体的な行動をとるよう要求
 - ・ 政府の対応として以下の内容を表明
 - ① 情報収集・分析の徹底を期す
 - ② 国民の安全・安心の確保等に万全を期す
 - ③ 放射性物質の影響についてモニタリング体制を強化する
 - ④ 関係国との協力を強化する
 - ⑤ 今後の北朝鮮の反応等を考慮して、更なる対応を検討する

3 警察の対応

- 警備局長を長とする警察庁対策本部を設置（午前10時53分）
- 都道府県警察に対し、①北朝鮮関連施設、政府関連施設等に対する警戒警備の徹底、②情報収集の強化等を指示
- 放射能対策連絡会議における申合せを受け、本事案に関連する国民等からの問合せへの対応につき、都道府県警察に対して連絡